

# 相対主義

江口聡

2023-05-22

この文書をレポートで参照・引用する場合は、文献表では以下のように表記すること。

江口聡 (2023) 「相対主義」、講義資料、5月22日版

道徳に関して「本当に正しいこと」「真理」は存在するのだろうか、という疑問がわくことがある。たとえば、胎児の障害を理由にした妊娠中絶は規制されるべきかどうか、末期がん患者自身が希望する場合の積極的安楽死は認められる、死刑は廃止されるべきかどうか、といった問題については、人々の意見は分かれるだろう。一方には障害を理由にした中絶は胎児の生きる権利を踏みこじるものだという人々もいれば、そうした選択は母親あるいは両親の意思にまかされるべきだと考える人々がいる。患者自身が望めば致死的な薬剤を使った安楽死も許されるべきだと考える人もいれば、そうした制度は弱者を見殺しにすることになるから認められないとする人々もいる。勝手な理由で殺人を犯した人は死刑になって当然だと考える人もいれば、国家が人を殺すことはどんなことがあっても許されないと考える人々もいる。

実際、こうした問題に対する答えは、国家・社会によって変わっている。障害胎児の中絶を合法にしている国もあれば、中絶そのものが非合法の国もある。安楽死をみとめる国もあれば、許されない国もある。死刑を廃止した国もあれば、日本のようにいまだに死刑制度をもつ国もある。

こうした問題を考えようとするときに、「本当に正しいことは存在しないかもしれない」「数学や物理学のように答が決まっている分野とはちがって、道徳には正しい答えはないのだ」と言いたくなる。私たちが倫理的な問題にコメントする場合には、「私はそれに反対だが、そうでない人もいられるだろう」「見解の相違だ」「単なる個人的な意見です」のような言葉を付け加えたいくなるものだ。

実際私たちは、7+5が12であることや、地球が太陽のまわりをまわっていること、徳川家康が関が原の戦いで勝利したことなどについては、「そう考えない人もいる」「見解の相違」「個人的な意見」などといった余計な言葉を付け加えたいくなることはない。

道徳的な価値や正しさそのものは目で見たり、望遠鏡や時計で測定したりすることはできないので、「よさ」や「正しさ」というものは、「地球が太陽のまわりを回っている」といった科学的な真理のようなかたちでは存在しないのではないか、という考え方をする余地がある。

## 1 さまざまな立場

道徳的な「真理」についてはさまざまな立場があり、また学者によってさまざまな名前であって、かなりややこしい。「～主義」、「～論」、「～説」などの呼び方のバリエーションもあって面

倒である。まずは大雑把に次のように把握しておくといよい。「論」「主義」「説」の違いは気にする必要がない。どれも英語ならば「～ism」に対応する。

**道徳的実在主義／道徳的客観主義** 道徳的真理は客観的で認めることができる。道徳については客観的な基準がある。

**道徳的ニヒリズム／懐疑主義** 道徳的真理は存在しない。「本当に正しい」ことなどは存在しない。あるいはそういうものが存在することを疑う。

**道徳的相対主義** 道徳は社会（あるいは個人）に相対的である。

**道徳的主観主義** 道徳は個人の主観に依存する。

## 2 歴史上の相対主義者

相対主義的な考え方は、哲学がはじまった時点から存在している。

## 3 相対主義の魅力

## 4 宗教と倫理

### 4.1 人権？

世界人権宣言：精神的自由、経済的自由、身体的自由、参政権、

### 4.2 不寛容なイスラム？

Blackburn、Wong、Beauchamp、Brandt、Dreier 読む。